

- 1～3号機原子炉建屋については、デブリ取り出し完了までの長期にわたって必要性能を有していることを確認していくため、建屋健全性評価の取り組みを行っております。
- 2・3号機原子炉建屋については、上記取り組みの一環として、1階レベルおよび5階オペレーティングフロアレベルに地震計を設置し、建屋全体の経年変化の傾向把握等を目的とした観測を継続的に実施しておりますが、その水平展開として、これまで1号機原子炉建屋への地震計設置の拡大を検討してまいりました。
- 1号機原子炉建屋については、2023年3月26日に、1階と同レベルの屋外床面に地震計を設置しました。なお、大雨による水没対策としてかさ上げした基礎上に設置するとともに、故障に備えて多重化および予備品確保の対策を講じております。
- その後、通信状況確認や動作試験等を行い、このたび、準備が整ったことから、明日（3月28日）から観測を開始いたします。
- 今後、地震観測記録を建屋健全性評価等に活用してまいります。

【参考】地震計設置位置

